

今週のお祈り 顕現後第4主日特禱

神よ、あなたはみ子を世に現して、悪魔の業を滅ぼし、わたしたちを神の子、永遠の命を継ぐ者としてくださいました。どうかこの希望によって自らを清く保ち、み子が栄光とみ力をもって再び来られる時、み姿に似る者とならせてください。父と聖霊とともに一体であって世々に生き支配しておられる主イエス・キリストによってお願いいたします。アーメン



日本聖公会 東京教区
聖パウロ教会 にちようがっこう

〒153-0053 目黒区五本木 2-20-1
でんわ：03-3710-6031

号外81

発行日
2022年
1月30日

いぜんとして感染症の勢いが止まりません。皆さんの園や学校でも心配な状態が続いているかもしれません。心が不安で落ち着かないときは、家族など身近な大人に話しましょう。そしてお祈りで神様にもお話ししてね！



今週の聖書 ルカによる福音書 4：21～32

21 そこでイエスは、「この聖書の言葉は、今日、あなたがたが耳にしたとき、実現した」と話し始められた。22 皆はイエスを褒め、その口から出て来る恵みの言葉に驚いて言った。「この人はヨセフの子ではないか。」23 イエスは言われた。「きつと、あなたがたは、『医者よ、自分を治せ』ということわざを引いて、『カファルナウムでいろいろなことをしたと聞いたが、郷里のこどもでもしてくれ』と言うに違いない。」24 そして、言われた。「よく言うておく。預言者は、自分の故郷では歓迎

されないものだ。25 確かに言うておく。エリヤの時代に三年六か月の間、雨が降らず、全地に大飢饉が起こったとき、イスラエルには多くのやもめがいたのに、26 エリヤはその中の誰のもとにも遣わされないで、シドン地方のサレプタにいるやもめのもとにだけ遣わされた。27 また、預言者エリシャの時には、イスラエルには規定の病を患っている人が多くいたが、シリア人ナアマンだけが清められた。」28 これを聞いた会堂内の人々は皆憤慨し、29 総立ちになって、イエスを町の外へ追い出し、町が建っている山の崖まで連れて行き、突き落とそうとした。30 しかし、イエスは人々の間を通り抜けて立ち去られた。31 イエスはガリラヤの町カファルナウムに下って、安息日には人々を教えておられた。32 人々はその教えに驚いた。その言葉に権威があったからである。

聖書からのメッセージ

「イエスさまの威厳に満ちた言葉」

司祭 池 星 熙

ナザレの会堂の人々は「福音を受け入れない人々は、神様の救いにあずかることはできない」というイエスさまのお言葉を聞いていました。するとイエスさまを信じない人たちが立ち上がり、イエスさまを外の崖へ連れていき、突き落とそうとしました。しかし、イエスさまは居並ぶ群衆をすり抜けて、その場から立ち去られました。人々の間を通り抜けて立ち去られたのです。そしてその後は、イエスさまは再びガリラヤのカファルナウムへ行かれ、人々に福音を伝えながら教えを与えました。イエスさまの教えに人々は驚きを隠すことができませんでした。イエスさまの言葉がより一層威厳に満ち溢れていたからです。